

# 事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

12734

販売促進事業

[長期総合計画]

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政策	3	豊かな暮らしを支える住環境の整備
施策	1	居住環境の整備
取組方針	1	良好な居住環境の確保

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	土地造成事業特別会計		
	款	スカイタウンつつじが丘造成費		
	項	宅地分譲事業費		
	目	宅地分譲事業費		
	大事業	宅地分譲事業		
中事業	販売促進事業			

事業種別	継続		関連個別計画			
事業年度	平成10年度	～	無し	担当課・担当課長・Tel	住宅政策課	大河内 孝則 435-1099
事業実施の根拠法令			関連課			

## 1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	スカイタウンつつじが丘分譲地の販売を促進する。		市域内での定住を促進し、地域活性化を図る。			
事業内容	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	
	新聞広告掲載、イベント等での販売促進活動及び進出事業者調査を行う。残地、管理用地の維持管理を行う。	新聞広告掲載、イベント等での販売促進活動を行う。残地、管理用地の維持管理を行う。	分譲地の販売促進を図るため、広告掲載等の事業を実施する。分譲地を販売商品として維持するため、樹木の処理等を行うなど維持管理する。	分譲地の販売促進を図るため、広告掲載等の事業を実施する。分譲地を販売商品として維持するため、樹木の処理等を行うなど維持管理する。	分譲地の販売促進を図るため、広告掲載等の事業を実施する。分譲地を販売商品として維持するため、樹木の処理等を行うなど維持管理する。	

## 2 事業コスト

事業費等(千円)	平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和02年度		令和03年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	28,940	26,165	27,689	25,437	24,933	20,560	25,428	0	25,428	0
伸び率(%)	△2.1%	△1.6%	△4.3%	△2.8%	△10%	△19.2%	2%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	11,645	13,241	13,267	12,868	13,370	13,290	11,759	0	0
	正規職員以外	4,096	4,295	2,134	2,134	2,138	2,138	4,408	0	0
	小計	15,741	17,536	15,401	15,002	15,508	15,428	16,167	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	28,940	26,165	27,689	25,437	24,933	20,560	25,428	0	25,428	0
一般財源(税等)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
所要人数(人)	正規職員	1.46	1.66	1.66	1.61	1.66	1.65	1.46	0.00	0.00
	正規職員以外	1.64	1.72	0.86	0.86	0.86	0.86	0.86	0.00	0.00
主な予算内訳	自動車運転委託料 3,924千円、樹木等処分委託料 11,750千円等									

## 3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
販売促進活動		件	目標値	12	12	12	12	12
			実績値	21	16	11		
			達成度(%)	175%	133.3%	91.6%	%	%
販売区画数累計(スカイタウンつつじが丘)		区画	目標値	380	400	406	408	418
			実績値	390	396	398		
			達成度(%)	102.6%	99%	98%	%	%
成果指標			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

#### 4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している		横ばい	○ 減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	○	おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

#### 5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	令和元年度末の販売実績は、一般分譲宅地697区画中、398区画を販売し、進捗率は57.1%となった。今後も、広域に広報し、複数区画同時購入割引制度等を活用して販売促進に努める。また、販売を促進させるため、草刈や樹木の伐採等維持管理を行い、良好な景観づくりに努める。
見直し・改善内容	多様な媒体を活用した広報をすることにより、より一層の周知を図り、販売につなげていく。